



EX コマンド

この章では、Cisco ONS 15454、ONS 15327、および ONS 15600 の exercise (EX) コマンドについて説明します。

13.1 EX-SW-<OCN_BLSR>

(Cisco ONS 15454、ONS 15327、ONS 15600) OC12、OC48、OC192 の Exercise Protection Switch (EX-SW-<OCN_BLSR>) コマンドは、実際に切り替えを行うことなく、現用ファシリティから保護ファシリティへの切り替えアルゴリズムを試験的に実行します。試験対象のファシリティは現用ユニットであることを前提にします。試験切り替え実行の結果 (成功または失敗) は、自動アラームで示されます。

使用上のガイドライン

プラットフォーム別にサポートされる修飾子については、表 27-1 (p.27-1) を参照してください。

SONET 保護回線の試験切り替えは、このリリースではサポートされていません。このコマンドを保護ユニットに送信すると、エラーメッセージが返されます。すべての標準 INPUT、EQUIPAGE、PRIVILEGE エラーコードに加え、このコマンドには次のエラーコードも含まれます。

- SNVS (Status, Not in Valid State [ステータス、無効な状態])
- SROF (Status, Requested Operation Failed [ステータス、要求された処理の失敗])
- SSRD (Status, Switch Request Denied [ステータス、切り替え要求拒否])



(注)

- EX-SW-<OCN_BLSR> コマンドを、短時間 (30 ~ 45 秒未満) に 2 ファイバまたは 4 ファイバリングのイーストおよびウェストの両サイド/スパンに送信すると、一方のサイド (ウェスト) の EXER-RING クエリーだけが実行されて、もう一方の (イースト) サイドのクエリーがプリエンブション処理されます。プリエンブション処理されたサイドではイベントメッセージは報告されず、APS-CLEAR 切り替えステートになります。次に例を示します。
 - 同一の 2 ファイバまたは 4 ファイバリングの両サイド/スパン AID (リスト AID 形式) の単一のコマンド
 - 同一の 2 ファイバまたは 4 ファイバリングの両サイド/スパンの別個のクエリー (TL1 または Cisco Transport Controller [CTC]、あるいは TL1 および CTC 経由)
- DIRN パラメータはオプションです。2 ファイバまたは 4 ファイバの BLSR 保護グループでは、このパラメータの値がヌルの場合には、デフォルトで BTH に設定されます。DIRN は次のルールに従います。
 - どのような種類の保護グループに対しても、TRMT は必ず失敗します。

13.1 EX-SW-<OCN_BLSR>

- 2 ファイバまたは 4 ファイバ BLSR 保護グループの場合、RCV と TRMT の両方向で失敗します。
- BTH だけが有効なパラメータです。EX-SW-<OCN_TYPE> は、Bidirectional Line Switched Ring (BLSR; 双方向ラインスイッチ型リング) 保護グループでだけ機能します。

カテゴリ	BLSR						
セキュリティ	メンテナンス						
入力形式	EX-SW-<OCN_BLSR>:[<TID>]:<AID>:<CTAG>::,[<SWITCHTYPE>],[<DIRECTION>];						
入力例	EX-SW-OC48:CISCO:FAC-12-1:123::,SPAN,BTH;						
入力パラメータ	<table border="1"> <tr> <td><AID></td> <td>アクセス ID (「25.15 FACILITY」 [p.25-34] を参照)。切り替え要求が送信される NE 内のファシリティを識別します。</td> </tr> <tr> <td><SWITCHTYPE></td> <td>切り替えのタイプ。ヌルにはできません。パラメータタイプは SWITCH_TYPE で、BLSR 切り替えタイプです。MANWKSWBK、MANWKSWPR、FRCDWKSWBK、FRCDWKSWPR、LOCKOUTOFPR、および LOCKOUTOFWK は、RTRV-PROTNSW-OCn コマンドの検索専用の値です。これらの値は、OPR-PROTNSW-OCn コマンドには適用されません。RING および SPAN は、BLSR 保護でだけ許可される値です。 <ul style="list-style-type: none"> • FRCDWKSWBK 現用ユニットは強制的に現用に戻されます。 • FRCDWKSWPR 現用ユニットは、強制的に保護ユニットに切り替えられます。 • LOCKOUTOFPR 保護側のロックアウト • LOCKOUTOFWK 現用側のロックアウト • MANWKSWBK 現用ユニットを手動で現用に戻します。 • MANWKSWPR 現用ユニットを手動で保護ユニットに戻します。 • RING BLSR リング切り替えタイプ • SPAN BLSR スパン切り替えタイプ </td> </tr> <tr> <td><DIRECTION></td> <td>方向。値がヌルの場合には、デフォルトで RCV に設定されます。パラメータタイプは DIRECTION (送受信の方向) です。 <ul style="list-style-type: none"> • BTH 送信および受信の両方向 • RCV 受信方向のみ • TRMT 送信方向のみ </td> </tr> </table>	<AID>	アクセス ID (「25.15 FACILITY」 [p.25-34] を参照)。切り替え要求が送信される NE 内のファシリティを識別します。	<SWITCHTYPE>	切り替えのタイプ。ヌルにはできません。パラメータタイプは SWITCH_TYPE で、BLSR 切り替えタイプです。MANWKSWBK、MANWKSWPR、FRCDWKSWBK、FRCDWKSWPR、LOCKOUTOFPR、および LOCKOUTOFWK は、RTRV-PROTNSW-OCn コマンドの検索専用の値です。これらの値は、OPR-PROTNSW-OCn コマンドには適用されません。RING および SPAN は、BLSR 保護でだけ許可される値です。 <ul style="list-style-type: none"> • FRCDWKSWBK 現用ユニットは強制的に現用に戻されます。 • FRCDWKSWPR 現用ユニットは、強制的に保護ユニットに切り替えられます。 • LOCKOUTOFPR 保護側のロックアウト • LOCKOUTOFWK 現用側のロックアウト • MANWKSWBK 現用ユニットを手動で現用に戻します。 • MANWKSWPR 現用ユニットを手動で保護ユニットに戻します。 • RING BLSR リング切り替えタイプ • SPAN BLSR スパン切り替えタイプ 	<DIRECTION>	方向。値がヌルの場合には、デフォルトで RCV に設定されます。パラメータタイプは DIRECTION (送受信の方向) です。 <ul style="list-style-type: none"> • BTH 送信および受信の両方向 • RCV 受信方向のみ • TRMT 送信方向のみ
<AID>	アクセス ID (「25.15 FACILITY」 [p.25-34] を参照)。切り替え要求が送信される NE 内のファシリティを識別します。						
<SWITCHTYPE>	切り替えのタイプ。ヌルにはできません。パラメータタイプは SWITCH_TYPE で、BLSR 切り替えタイプです。MANWKSWBK、MANWKSWPR、FRCDWKSWBK、FRCDWKSWPR、LOCKOUTOFPR、および LOCKOUTOFWK は、RTRV-PROTNSW-OCn コマンドの検索専用の値です。これらの値は、OPR-PROTNSW-OCn コマンドには適用されません。RING および SPAN は、BLSR 保護でだけ許可される値です。 <ul style="list-style-type: none"> • FRCDWKSWBK 現用ユニットは強制的に現用に戻されます。 • FRCDWKSWPR 現用ユニットは、強制的に保護ユニットに切り替えられます。 • LOCKOUTOFPR 保護側のロックアウト • LOCKOUTOFWK 現用側のロックアウト • MANWKSWBK 現用ユニットを手動で現用に戻します。 • MANWKSWPR 現用ユニットを手動で保護ユニットに戻します。 • RING BLSR リング切り替えタイプ • SPAN BLSR スパン切り替えタイプ 						
<DIRECTION>	方向。値がヌルの場合には、デフォルトで RCV に設定されます。パラメータタイプは DIRECTION (送受信の方向) です。 <ul style="list-style-type: none"> • BTH 送信および受信の両方向 • RCV 受信方向のみ • TRMT 送信方向のみ 						